

次号予告

特集 ABC と TOC の対立と統合

ABC システムと TOC におけるパラダイムの相違—機械論的世界観と自然生命システム

論的世界観—	岩田弘尚 (専修大学)
実務面より見た対立と矛盾	小林英三 (M S I)
TOC と ABC/ABM の相互補完性と統合的管理	浜田和樹 (西南学院大学)
ABB と TOC—戦略的コスト・マネジメントから戦略的マネジメント・システムへ—	望月恒男 (北九州市立大学)
システムから見た BSC vs. TOC	平山克己 (北九州市立大学)

編集後記

●関東地方では、電力需給不足が叫ばれる夏となりました。本特集が、届く頃には夏の甲子園も始まり、電力ピークを迎えているでしょう。ご存知のように、日本では、西側では 60 Hz、東側では 50 Hz の周波数を使用しています。これは、明治時代に、西側はアメリカ製の発電機を、東側はドイツ製の発電機を使用したためです。同じ周波数を日本全国で使用していれば、今回のような電力需給不足騒ぎはなかったとのことです。公共で使用するものは、グローバルな視点で規格を統一して欲しいものです。

●今回の特集は、「企業事例」です。企業事例は、定期的に特集を組んでいます。一つの目的は、数理計画法を実際の場に適用する際に行なわれている様々な工夫を紹介することです。実際の現場では、数式通りにいかない様々な制約があります。この制約を、いかに

して乗り越えて実用化したかを紹介することです。もう一つの目的は、実際の現場に潜んでいる OR 的な問題の場を紹介することです。大学の研究者の方から見ると、全く別の解法がひらめくかもしれません。大学の研究者の方に問題研究の場を提供することも、大事な目的と考えています。今回も、上記目的に合致した四つの事例が集まりました。製鉄所/石油化学プラント/組み立て製造ライン/地域統合といった事例です。企業事例を探そうとすると、企業の守秘義務等で、なかなか探せないことがあります。是非とも本特集を、産学連携の貴重な場として活用していただければと思います。

●私事ですが、今回の編集後記が最後となります。今後は、一企業人として学会活動に参画させていただきたいと思います。永年にわたり、ありがとうございます。(原 裕淳)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 杉野 隆 (国士館大学)

委員 井階美歩 (㈱ NTT データ)、池上敦子 (成蹊大学)、大澤義明 (筑波大学)、大村弘之 (日本電信電話㈱)、岡田 勇 (創価大学)、小沢利久 (駒澤大学)、住田 潮 (筑波大学)、高橋一喜 (東京ガス㈱)、所 健一 (㈱電力中央研究所)、中川義之 (キヤノンシステムソリューションズ㈱)、生田日崇 (専修大学)、根本俊男 (文教大学)、松村良平 (東京工業大学)、三浦英俊 (明海大学)、村井雅彦 (㈱東芝)、矢田 健 (日本電信電話㈱)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 15 年 8 月号 第 48 巻 第 8 号 通巻 512 号

代表者 小笠原 暁

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032
<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 杉野 隆

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970 円 (本体 924 円) 年間予約購読料 11,040 円 (税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ